

豊剣会だより

(表題字・中9 榎原 武雄氏)

第九回豊剣杯争奪大会及び懇親会は、平成15年3月30日(日)に実施します(詳細は裏をご覧ください)

平成15(2003)年
3月12日 発行

大芝利文会長よりご挨拶

高13期 大芝 利文

豊中高校剣道部は、豊中中学校が創設された大正10年(1921年)に活動を始めて以来、今年(2003年)で82年を迎えることになりました。昭和56年(1981年)当時、豊剣会初代会長の中務秀夫氏が中心となり、部誌「剣道六十年史」が編纂されて後、もはや20数年が過ぎました。豊中中学時代の先輩方も高齢となられ、豊剣会も、豊中高校時代の私達に引き継がれるようになりました。皆様のご協力を得て、これからも更に豊剣会及び豊高剣道部の発展に尽くしていくのが、私達の使命であると思えます。

さて、世の中は不況が長引いたまま、未だに景気が回復せず、デフレが続いております。また、世界に目を向けますと、イラクや北朝鮮に対する世界の包囲網が形成され、一触即発の空気がみなぎる不気味な情勢です。このような世情の中、私達剣道を愛する者は、常日頃の平常心と相手を思いやる心を養い、前向きに生きることが大切であると考えます。

かく言う私は、昨年(2002年)の9月に、合計37年半にわたる会社生活にピリオドを打ち、定年退職いたしました。その後、これまでご無沙汰していた剣道の稽古を再開、三木市という遠い所に住んでいるため、豊高までとはまわりませんが、無理をせず週1回のペースで稽古を行っています。私が「これからも生涯にわたって剣道を続けよう」と思える原動力は、豊高時代の剣道部の活動であったと確信しております。

今年も、豊剣会の、OBと現役が集う豊剣杯争奪大会、総会、懇親会の季節がやってまいりました。3月30日(日)に予定されている大会も今年で9回目を迎えます。若手OBのご協力を得て、年々より楽しい大会に発展しておりますので、是非OB諸氏の多数のご参加をお待ちしております。

今年こそ、長い不況から脱却し、少しでも明るい平和な世の中になりますように、また、会員諸氏の益々のご健勝とご活躍、並びに、豊剣会及び豊高剣道部の更なるご発展をお祈り申し上げます。

豊田俊一副会長よりご挨拶

— 豊高剣道部夏季合宿練習の報告 —

中学21回 豊田 俊一

平成14年度の剣道部夏季合宿は、顧問の山崎先生の引率のもと、7月28日(日)から31日(水)までの3泊4日、神鍋高原奥神鍋で開催された。参加者は2年男子6名・女子5名、1年男子3名・女子5名、マネージャー2名の計21名であった。今回は、例年この合宿にはるばる横浜から参加して下さっていた高校16期の大芝信雄氏(剣道教士7段)をはじめ、昨年に引き続き、49期の尾久土寛・門脇真一・矢野倫太郎・為平隆治の4氏、加えて47期の若奉典氏、48期の光久広志氏と、先輩が多数参加して下さいました。

練習は、尾久土先輩の指揮・指導により、基本練習、技の練習、打ち込み掛かり稽古、地稽古等を行い、特に3日目の午後には、山元主将はじめ選抜5人を元太刀に、先輩7人と現役3人の計10名がかかる立ち切り稽古を行った。残りの生徒は、豊田の指導で、基本と技の練習を行った。立ち切り稽古は、1回5分、連続10人を相手にする稽古で、元太刀の諸君は大変だったが、実に充実した練習を行うことができた。事故もなく、予定通りの日程を終え、帰りに山崎先生のご配慮で近くの温泉で疲れを癒し無事帰校した。

現在、豊高には剣道の技術指導者が居られないので、合宿の練習時に先輩方に稽古をつけてもらうのが、上段者と稽古をする唯一の機会となっている。また、このことが先輩にとっても現役との繋がりができ、学校での練習に顔を出しやすくなる利点ともなっている。今後とも、先輩方のご援助をお願いする次第である。

平成14(2002)年度剣道部合宿

豊中高校剣道部顧問 山崎 一

本年度(平成14年度)も合宿は、7月28日～31日、奥神鍋の「とらや」で実施しました。一度場所を変えたいとの思いもありましたが、当地は独占できる道場が目の前(徒歩2分)にあり、この魅力に勝てる場所が今のところ見つかりません。当分はこのパターンで行こうと思っています。

昨年度(平成13年度)は、いつもご指導いただいている豊田俊一さんのご都合がつかず、あたふたしました。何しろ、一度も竹刀

を握ったことのない顧問の私にとって、豊田さんだけが頼りだからです。しかし、昨年度はピンチヒッターに大学生4名が来てくれて、何とか乗り切ることができました。今年度は、豊田さんにご指導をお願いできた上、昨年度来てくれた尾久土さんや矢野さんなど、数名のOBも指導に加わって下さいました。かくして、複数の指導陣を備えた豪華なニュースタイルの合宿がここに確立したのです。

しかし、その分費用がかさみ、豊剣会に更なるご負担をお掛けすることになりました。申し訳ない思いでいっぱいですが、でも、生徒の実力はそれに比例してアップしているはず。どうか今後ともご助力を、よろしくお願い申し上げます。

さて、私事ですが、今年度の合宿は私にとって少し違った感じのものになりました。それは、直前の7月24日に結婚したからです。リーガロイヤルに9名お集まりいただき、私自身の司会で披露宴を行いました(ちなみに、私は放送部の顧問でもあります)。それに際して、豊剣会からお祝いをいただきました。どうも有り難うございました。代表して出席して下さいました高田裕文さん(高校20期)からも「良い結婚式でした。」という言葉いただきました。何かと大変な結婚生活ですが、精一杯頑張っていこうと思っています。もちろん剣道部顧問としても、全ての力を出し切って頑張ります。

豊高剣道部部長より

部長 山元 正行

「あなたは剣道に対してどんなイメージを持っていますか?」と、一般の人に尋ねてみると、良いイメージを持っている人は、残念なことにはあまりいませんでした(僕の周りの人だけですが)。確かに汗を多くかくので、不潔だとか臭いだとか言われます(これも僕の周りだけです)。しかし「剣道」は、マイナス面だけではないと思います。それ以上にプラス面があることを、皆さんに知ってもらいたいです。プラス面の例を挙げると、まず姿勢が良くなる、また忍耐力がつく、そして何より、OBやOGの先輩と知り合えます。

昨年、先輩に夏の合宿に来ていただいて本当に助かりました。いくら素質のある人でも、方法がでたらめであつたら、素質を伸ばすことはできません。しかし、今回の合宿のように、先輩達に来ていただくことによって、効率のよい稽古ができます。地稽古で先輩達の指導を受けて、普通の二倍も三倍も有効に稽古ができました。それに留まらず、その後もいろいろな先輩が、学校に指導しに来て下さっています。

今の豊高剣道部には、指導していただける先生がいません。その分、僕達は「自分で考えて実行してみ、失敗して、そしてまた考えて…」の繰り返しでやっていくしかありません。どうしても一度ついてしまった癖はなかなか直らず、しかも、そのような癖は悪いものがほとんどです。また、自分たちだけの稽古では、見落としている部分も多くあります。ですが、先輩達は僕達より知識と経験が豊富です。僕達の見落としている癖でも、治すため、しっかり指導して下さいます。

ですから、OB・OGの皆さん、忙しいとは思いますが、ご自分の豊高剣道部の時代を振り返りながら、母校に足を運んで下さい。よろしく願います。

二十年前を振り返って

— 豊剣会への誘い —

高校29期 並河 徹也

小生は6年前に関西に戻り、現在芦屋で子供たちを教えながら、自分も稽古をしております。1月2日の稽古始め(豊剣会と豊中市剣道協会の共催)と、3月下旬の豊剣杯争奪大会・懇親会には、ここ数年出席していますが、母校で稽古をすると、26年前のことが懐かしく思い出されます。

当時を振り返ると、私が豊高剣道部を希望するきっかけとなった故井坂先生、いつも早く試合や合宿の付添を引き受けて下さった顧問の故奥田先生、また、桜塚高校の剣道部顧問でありながら豊高に来て熱心に稽古を付けて下さった故中務先生、並びに諸先輩方から、折に触れて豊高剣道部の伝統の重みを教わりました。それらの方々の多大な影響を受けたのは、私一人ではなかったと思います。

部長として、剣を志す良き仲間と共に稽古に励み、その結果、府下団体ベスト16位、北摂大会優勝、インターハイ個人ベスト8位という成績を残せたことは、良き思い出です。

豊高剣道部OB・OGの皆さん、来る3月30日の大会及び懇親会には是非参加しましょう。

第九回豊剣杯争奪大会及び懇親会のご案内

毎年3月下旬の日曜日に実施している、豊剣杯争奪大会及び懇親会も、今回で第九回目を迎えることとなりました。参加者も年々増加し、昨年の第八回は、現役も含め64名を数えるに至りました。

今後も、豊高剣道部OB〔豊剣会会員〕相互、並びにOBと現役部員の交流の場として、参加者がますます増えることを願っております。現在剣道をしておられない方も、剣道部の同窓会のつもりで、ふるってご参加下さるようお願い申し上げます。

第九回の実施要項を、以下のように決めましたので、同期の方をお誘いのうえ、参加の申し込みをお願いいたします。期日が迫っておりますので、申し込み無しでの当日参加でもけっこうですが、準備の都合もありますので、できるだけご連絡下さい。

- 1 日時 3月30日(日)
- 2 場所 争奪大会；豊高柔剣道場 懇親会；さがみ
- 3 会費 一般 3,000円 学生 2,000円
- 4 申込先

*参加される方は、下記事務局の高田宛ハガキ・電話又はFAX〔下記電話で送れます〕で、若しくは下記メールアドレス宛Eメールでご返事ください。高田宛電話・FAX連絡の際、非通知の方は186を頭に付けて通知して下さい。高田不在の場合は伝言でお願いします。

〒563-0105 大阪府豊能郡豊能町新光風台5-21-9

TEL 072-738-5433

メール houkenkai@hotmail.com

5 実施スケジュール

- 11:00～ 受付開始〔体育館1階入口にて〕
 - 11:30 豊高柔剣道場に集合しチーム編成
 - 12:30 開会式
 - 12:45 試合 開始、その後 練習
 - 15:00 閉会式 終了
- 〔「さがみ」(学校から歩5分・梅花高校東北向い)へ移動〕
- 16:00 懇親会 開始(大会の進行次第で多少前後します)
 - 17:30 懇親会 お開き

この後は、各グループで懇親の場をお持ち下さい。

(注) 後半の懇親会の都合がございますので、試合に参加される方は、11:30からスムーズにチーム編成ができるよう、早めにお越し下さい。

豊剣会会計報告について

平成14年度分(平成14年1月から12月まで)の会計報告は、別紙として同封いたしております。

協力金等のお願い(事務局より)

日頃は、豊剣会へ色々ご協力を頂き有り難うございます。

豊剣会は、(ア)豊高剣道部OB相互の交流及びOBと現役部員の交流、(イ)現役部員への支援を目的に組織されたもので、その運営は、皆様からの会費・協力金で賄われております。

それらの資金は、(ア)については、毎年3月下旬に実施している「豊剣杯争奪大会と懇親会」への援助、皆様にお送りしている「豊剣会だより」の発行費用、慶弔費等に使われております。また(イ)については、夏期合宿への援助費等として、剣道部員の技術向上のために活用されております。特に、この2年間は、若いOB・OGの皆さんに、遠路指導に来ていただいているため、その費用が大きくなっております。

従って、毎年皆様からお送りいただく会費・協力金が途絶えることは、伝統ある豊高剣道部の、世代を越えた交流を絶やすことにつながるかと申して過言ではないと考えます。

どうかその点をお汲み取りいただき、同封の振り込み用紙にて多大のご協力をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

また、母校近くにお住まいの方は、3月下旬の「豊剣杯争奪大会及び懇親会」にご参加いただくようお願いいたします。

遠方の方〔もちろんお近くの方も〕は、豊剣会事務局宛に近況をお知らせ下されば、次号の「豊剣会だより」に掲載させていただきますので、音信の途絶えた同期や先輩・後輩との交流復活のきっかけになると思います。

会費・協力金に協力いただいた方

〔豊剣会への会費・協力金を頂戴いし、誠に有り難うございます。前回掲載分以後、平成15年1月までにご送金いただいた方々を、ご紹介いたします。今回掲載分以降にご送金いただいた方は、次号でご紹介いたします。回(期)別・順不同で敬称略。()内は旧姓、[]内は短信。万一、掲載漏れ、誤字等がありましたらお許しください。また、転居通知の詳細について、掲載を希望される場合は、お申し出いただければ次号に掲載します。〕

中4；荒川 拓。 中9；榎原武雄。 中10；薦田巖男。
中14；米谷孝。 中15；杉浦嘉人。 中16；前川昌三。
中17；菅原十三秋、中島 巖。 中19；谷口真澄。
中20；佐野 浩〔平成13年12月24日に死亡いたしました。供養として納めさせていただきます。妻美智子〕。
中21；土肥(菊井)通夫、豊田俊一、水野貴夫。
中22；内山 理、玉城哲一、宮崎(上島)喜昭。
高7；今西春禎。 高10；牧野芳治、吉村克彦〔東京都板橋区に転居しました〕。 高13；大芝利文。 高14；丹羽太貴。
高16；大芝信雄、筒井 修。 高17；筑田芳夫。
高19；松原基夫。 高20；高田裕文。 高22；横田聡。
高27；西崎(高木)佳子〔昨年より週1回剣道を再開しました。いつかは豊剣杯に出場したいと思います。〕。
高29；後藤(藤本)陽子、並河徹也、吉矢和彦。
高30；石橋一雄、島村宏二。
高31；秋(森田)敦子、藤野(鶴川)隆世。 高32；福田和弘。
高33；岡 元司。 高35；石賀 健、塩見雅人。
高38；清水直樹〔現役の皆さんの益々のご活躍をお祈りします。〕。
高45；今泉佐知子。 高46；渡部義久。 高48；中原久美。
高49；阪本裕貴。 高52；小澤 葵。

第八回豊剣杯争奪大会及び懇親会参加者のご紹介

〔OBのみで敬称略。万一、掲載漏れがある場合、誤字のある場合はご容赦ください。〕

中14；西村淳一。 中21；豊田俊一。 中22；宮崎義昭。
高13；大芝利文。 高16；大芝信雄。 高18；松村栄太郎。
高20；高田裕文。 高29；並河徹也。 高32；福田和弘。
高37；曾和昭文。 高38；友井 毅。 高46；渡部義久。
高47；若泰典。 高49；大森久美子・尾久土寛・門脇真一・為平隆治・福嶋典子・矢野倫太郎・吉賀縁。
高50；木下佳子・森山佳奈。 高51；中野仁志・森山雄太郎。
高52；谷澤和哉・天満慎太郎・福嶋徹夫・前田博史・吉田賢一。
高53；金山知夏・齋藤 香・竹内嘉彦・松尾尚文・水川明子・彌城加容子。
高54；太田龍一・岡本弘司・小城友紀・鈴木亜紀子・武市愛子・平田瑞穂・藤井佑有・升方はるか・村井裕典。

(注) 上記参加者の他、豊高剣道部顧問山崎一先生と、現役生19名に参加・協力していただきました。山崎先生には、休日にも係わらず、大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

編集後記

事務局 高田 裕文(高20期)

今回も、「豊剣会だより」の発行が大幅に遅れてしまいました。その結果、「第九回豊剣杯争奪戦・懇親会」のお知らせがギリギリになったことを深くお詫び申し上げます。

3月末の大会は、前年卒業の期の部員(ちなみに今回の第九回は、54期生が担当で、第八回担当の53期生が指導)により運営されております。また、今回からは「豊剣会だより」の封筒詰めから発送までもその期の人たちにお願いすることになりました(たよりの原板作成と印刷は従来通り高田が、宛先等のタックシールづくりは51期森山で行いました)。

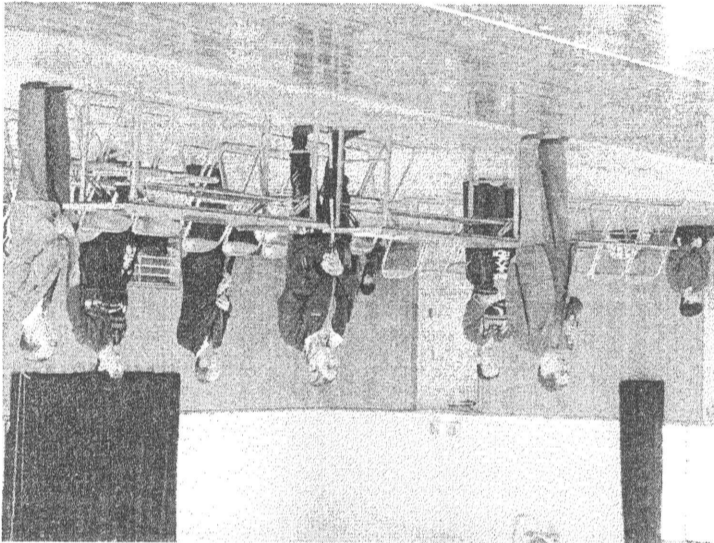
ここ暫く、全く面白みのない紙面になっておりますが、今後勉強して、豊剣杯争奪大会の写真等を掲載できるようにしていきたいと思っております。

現在、豊剣会の名簿整備を行っております。転居に際しては、事務局の高田又はEメールアドレス宛若しくは協力金振り込みの際、お申し出下さい。また、お知り合いの方で、転居の情報がありましたら、併せてお知らせ下さい。なお、名簿配布については、当節プライバシーや名簿悪用の問題がありますので、その点を勘案しつつ、今後検討してまいります。ご意見をお寄せ下さい。

第九回豊剣杯争奪大会の様相 【平成15年3月30日(日)実施】

1 開会式

(開会式に先立ち、豊陵会幹事の浅井先生から豊陵会館資料室の案内があった。)



- 浅井先生
- (本校卒業生・旧職員
- ・豊陵会幹事)
- 大芝利文氏
- (高13・豊剣会会長)
- 西村淳一氏
- (中14・豊剣会前会長)
- 豊田俊一氏
- (中21・豊剣会副会長)
- 並河徹也氏
- (高29)
- 宮崎義昭氏
- (中22)

2 争奪大会終了後の記念写真

